



特集

# 遊戯用カードの輸出



令和6年5月22日  
東京税関

★全国・東京税関管内ともに輸出数量・金額は増加傾向

★主な輸出先は米国、中国、シンガポールなど

★2023年は数量・金額ともに過去最高

## はじめに

「遊戯用カード」とは？

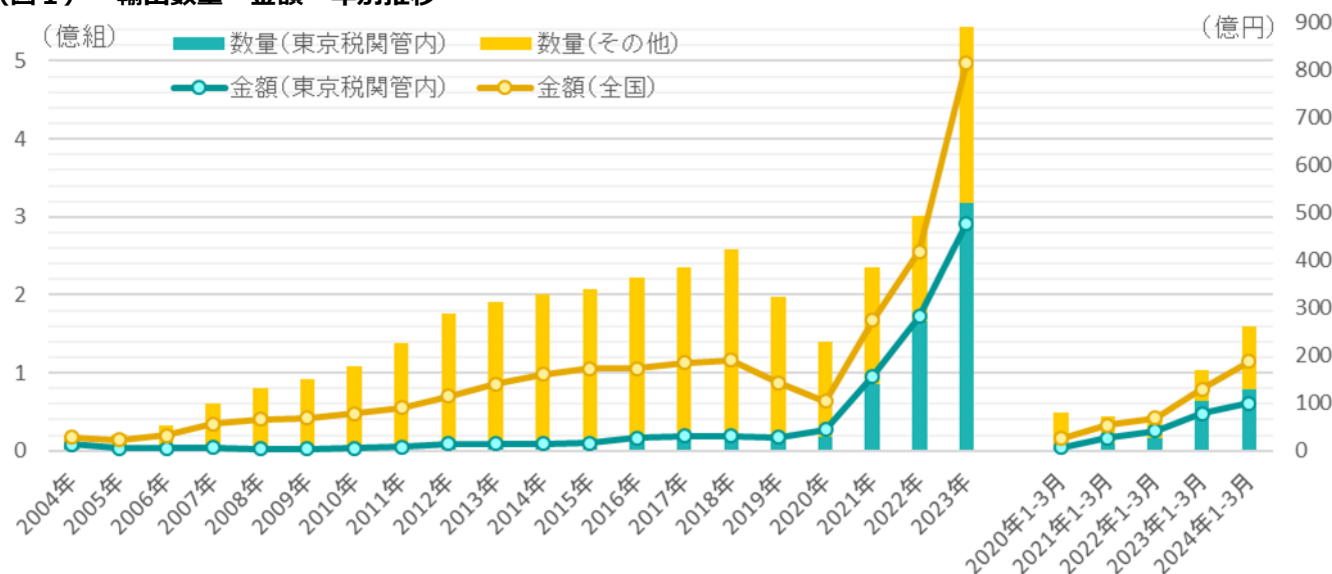
皆さんご存じのトランプ、かるた、花札、タロット、トレーディングカードなど、その名のとおり遊びに利用されるカードを幅広く指しています。これらの遊戯用カードの輸出が近年大幅に増加していることから、特集として取り上げることになりました。

本特集の「遊戯用カード」は、輸出統計品目番号9504.40-000（遊戯用カード）に分類されるものです。

## 輸出動向

図1は全国の遊戯用カードの輸出数量・金額の年別推移です。特に近年は伸び幅を拡げ、2023年については輸出数量が約5億4,400万組、金額が約815億1,400万円となり、確認できる1988年（数量については1996年）以降過去最大となりました。日本から輸出されている遊戯用カードで特に目立っているのは、トランプとトレーディングカードです。トランプは、海外のカジノ向けに多く輸出され、最近人気のトレーディングカードは輸出が急増しているようです。

（図1） 輸出数量・金額 年別推移



業界によると、トレーディングカードは、子供の頃に遊んでいた世代が大人になって再び遊ぶようになったり、レアカードの高額取引が話題になったことで、人気上昇し、国内市場が急拡大したとのこと。また、国内市場に牽引される形で海外市場も拡大し、更にコロナ禍の巣ごもり需要と動画配信の影響により、海外でも日本のアニメ等のコンテンツ人気が伸びた結果、2021年から輸出が大きく増加したと考えられるそうです。収集品としての側面もあり、ユーザーに高い品質を求められることが



ら、海外製造で代替されず、印刷技術に優れている国内製造が主流であることも輸出が伸びた要因の一つと考えられるそうです。

## 国・地域別輸出動向

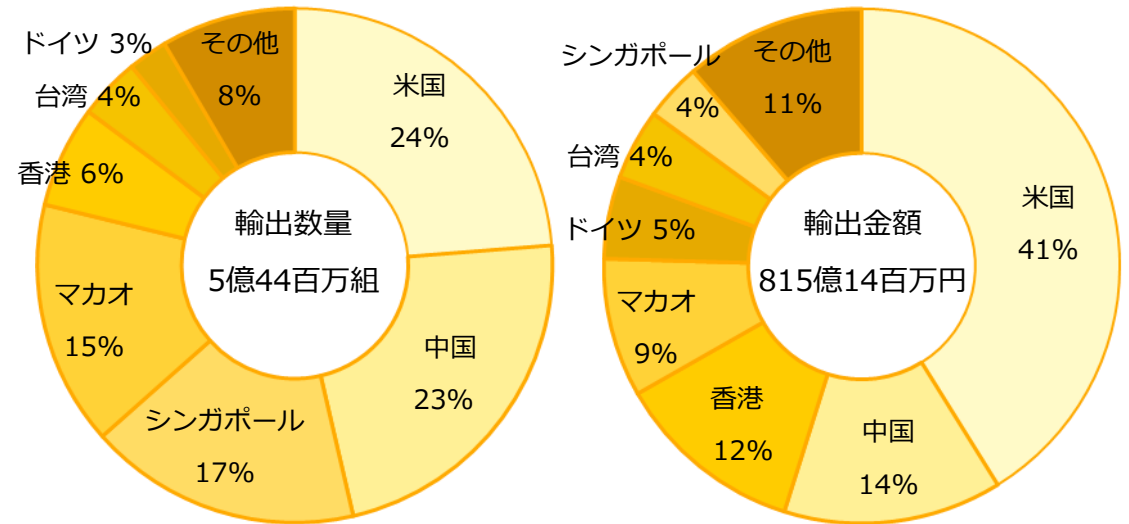
図2は、2023年の全国の国・地域別構成比です。輸出数量・金額ともに1位は米国、2位は中国です。輸出数量と輸出金額で順位に違いはありますが、3位以下はシンガポール、マカオ、香港、台湾、ドイツなどが続きます。

1位の米国は、輸出数量の割合が全体の24%であるのに対し、輸出金額の割合は全体の41%と大幅に高くなっています。これは、高額な値段がついた中古トレーディングカードの個人間売買（いわゆる二次流通※）や、鑑定のための輸出による影響が大きいと考えられます。

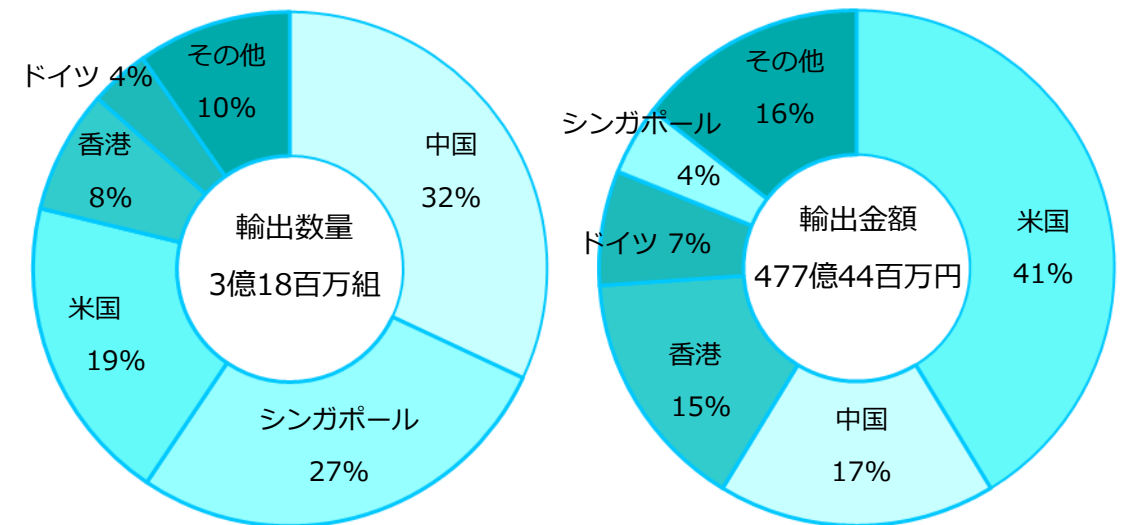
図3は、東京税関管内における国・地域別構成比です。数量は1位中国、2位シンガポール、続いて3位に米国ですが、金額は全国同様、1位米国、2位中国となっています。米国向けは全国と同様、高額な遊戯用カードの輸出が多く、輸出数量の全体に占める割合に比べて輸出金額の全体に占める割合が高くなっています。他方、中国・シンガポール向けは、輸出数量の全体に占める割合に比べて輸出金額の全体に占める割合が低くなっています。これは、二次流通等による輸出金額への影響が大きい米国向けとは異なり、一次流通※であるメーカーからの輸出が主であり、高額なものの輸出が多くないことが要因であると考えられます。

全国で輸出数量・金額ともに4位であるマカオは、東京税関管内では上位に入っていません。これは、マカオ向けの輸出は関西方面からのものでほぼ占められているためです。

（図2） 全国 国・地域別 構成比（2023年）



（図3） 東京税関管内 国・地域別 構成比（2023年）



※一次流通：商品が新品の状態で消費者の手に渡ること ※二次流通：一度市場に出た商品が再び販売されること



## 港別輸出動向

(図4) 全国 港別 構成比 (2023年)

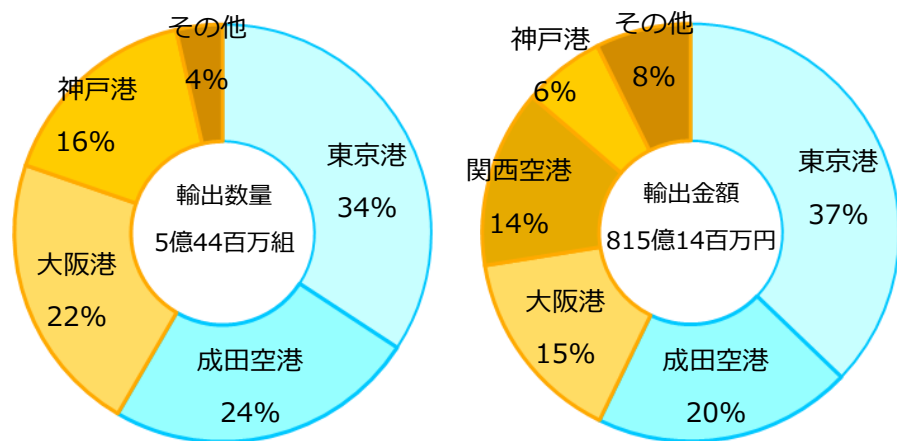


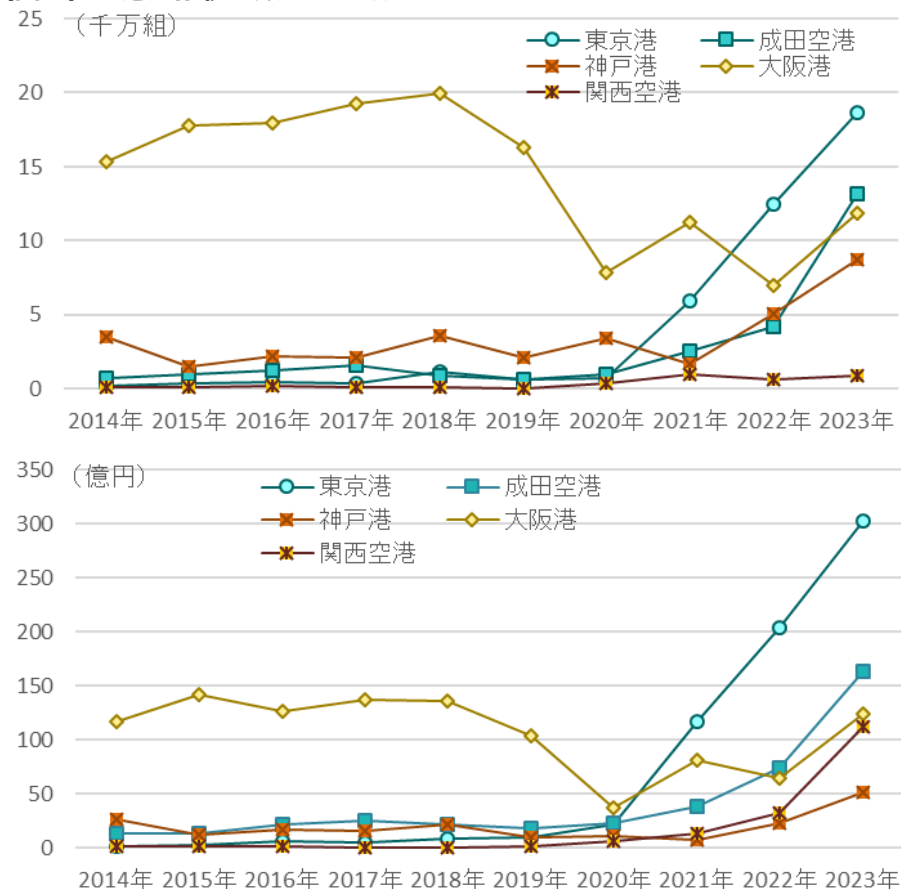
図4は、2023年の全国の港別構成比です。輸出数量・金額ともに1位東京港、2位成田空港、3位大阪港と続き、東京税関管内の港（東京港、成田空港）からの輸出が全体の半分以上を占めています。

ところが、図5のグラフが示すとおり、輸出金額は2020年まで、輸出数量は2021年までは、大阪港が長年にわたり全国トップでした。2020年に始まったコロナ禍の影響により、大阪港からの輸出が一時的に落ちこみましたが、現在は需要を取り戻してきており、輸出金額はコロナ禍前の水準に回復しています。

コロナ禍に入り、東京港、成田空港における輸出が急激に伸びているのは、主にトレーディングカードの影響であると考えられます。

1ページの輸出動向に記載したとおり、トレーディングカードについては、コロナ禍が輸出の追い風となりました。また、業界によると、ト

(図5) 港別推移 数量・金額



レーディングカードのメーカーの多くが首都圏にあるため、東京港、成田空港からの輸出が増加したのではないかとのことです。

一般的な玩具のほとんどは船便で輸出されることが多いのに対し、トレーディングカードは航空便の利用が目立ちます。これは、商品が不足したときに印刷してすぐ供給し、市場の需要に迅速に応えるためとのことです。





## 豆知識

### 「そのカードは本物？ 偽物？」

トレーディングカードについて、入手困難なレアカードの価格が高騰したことにより、投資目的の購入や窃盗事件などが話題になりました。

近年、トレーディングカード等収集品の鑑定サービスが注目を集めているのは、価格が高騰するにつれて中古品市場で偽物が多く出回っていることも理由の一つだと考えられます。

鑑定サービスとは、企業にカードを送付すると真贋やグレードを判定した上で開封不能なケースに入れて返却されるというものです。グレードは保存状態などを細かく見て決められます。ケースには鑑定結果が記載され、企業ごとに記載内容等は異なりますが、取引の際の価格の目安にもなります。第三者により真贋・グレード鑑定が行われるため、鑑定済みのケースに入っているカードは、未鑑定のカードより高い価格が付くこともあるようです。



トレーディングカードは、カードにキャラクターやアイテムの絵、能力などが書かれているワン。複数枚を組み合わせでデッキを作り、対戦相手と勝負するワン。

税関では、権利者の差止申立てにより、偽物の輸入を取り締まっているワン！

### 「トランプに税金？」

かつてトランプには税金がかかっていたのをご存じですか。

トランプ類税法に基づき、トランプ、花札、麻雀牌などには税金が課されてきました。明治35（1902）年に導入された骨牌税が、昭和32（1957）年にトランプ類税法として改正されたものです。

納税義務は製造者又は保税地域から引き取る者にありました。納税した証として、当時販売されるトランプ類には、トランプ類税証紙が貼られていました。

トランプ類税法は、消費税が導入された平成元（1989）年に廃止されました。もしお手元に、証紙が貼られているトランプ類があれば、それ以前に販売されていたものと考えられます。

トランプ類税証紙付のトランプ



出典：国税庁ホームページ

## おわりに

業界によると、近年急拡大してきたトレーディングカードの国内市場はやや緩やかな伸びになってきているものの、今後も安定して推移していく見込みです。海外市場では、しばらく拡大傾向が続くと予想されるそうです。

遊戯用カードの輸出の主力であるもう一方のトランプについても、今後、海外の需要がコロナ禍前の水準に戻っていくと予想されています。

以上のことから、日本から海外へ輸出される遊戯用カードは、今後も増加していくと考えられます。



## 資料

(表1) 全国 年別 輸出数量・金額

年	数量(組)		金額(千円)	
	全国	東京税関管内	全国	東京税関管内
2004年	19,269,042	5,854,076	2,758,998	1,262,520
2005年	21,390,582	3,973,258	2,269,864	527,129
2006年	32,671,410	3,707,499	3,199,275	482,660
2007年	60,954,969	3,856,938	5,638,051	649,317
2008年	80,198,032	1,635,195	6,591,997	362,069
2009年	91,396,451	3,637,894	6,888,095	393,287
2010年	108,832,800	4,885,975	7,749,233	558,233
2011年	137,851,362	7,442,701	9,007,814	787,691
2012年	176,482,839	13,959,297	11,486,783	1,429,506
2013年	190,044,757	10,399,871	14,021,321	1,448,914
2014年	200,246,706	9,357,917	16,041,059	1,428,752
2015年	207,362,487	13,724,006	17,243,314	1,638,522
2016年	221,854,017	17,445,650	17,196,504	2,714,051
2017年	235,986,047	19,555,583	18,440,072	3,045,235
2018年	258,689,815	20,947,902	19,025,355	3,104,081
2019年	197,965,246	12,679,366	14,296,691	2,790,277
2020年	139,599,628	17,084,508	10,402,649	4,428,626
2021年	235,051,527	85,592,125	27,406,042	15,610,303
2022年	301,167,496	166,661,919	41,780,594	28,110,591
2023年	543,832,591	317,683,487	81,514,257	47,744,440

(表2) 全国 国・地域別 輸出数量・金額(2023年)

国・地域	数量(組)		金額(千円)	
	全国	東京管内	全国	東京管内
米国	129,165,729	61,537,008	33,556,223	19,713,577
中国	122,951,589	101,533,398	11,161,737	8,318,042
シンガポール	92,910,808	87,231,346	2,940,001	2,088,387
マカオ	83,566,783	1,753	7,103,993	28,343
香港	34,807,262	24,638,731	9,693,229	7,261,436
台湾	21,054,514	5,102,300	3,620,030	1,479,255
ドイツ	13,428,582	11,876,353	4,217,012	3,431,264
その他	45,947,324	25,762,598	9,222,032	5,424,136

(表3) 全国 港別 輸出数量・金額(2023年)

港	数量(組)	金額(千円)
東京港	186,135,080	30,284,465
成田空港	131,422,018	16,356,534
大阪港	119,006,638	12,440,389
関西空港	9,153,847	11,232,499
神戸港	87,692,090	5,161,821
その他	10,422,918	6,038,549



取材協力：月刊トイジャーナル

参考：国税庁ホームページ (<https://www.nta.go.jp/about/organization/ntc/sozei/tokubetsu/31.htm>)

本資料を引用する場合、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

貿易統計の数値はインターネットでも検索できます。

本資料に関するお問合せは以下へお願いします。

東京税関 調査部 調査統計課 TEL:050-5533-6995

財務省貿易統計

検索

## 東京税関

〒144-8616 東京都大田区羽田空港2-6-3 羽田税関支署貨物合同庁舎  
<http://www.customs.go.jp/tokyo/>